

## 〔2006年度夏季例会報告〕

## 梓川、島々谷の植物観察会 (180・181回例会)

横 内 文 人\*

第180・181回例会は、平成18年7月1日(土)～2日(日)に松本市梓川倭(旧・梓川村)の梓川河川敷と同(旧・安曇村)島々谷で行われた。

7月1日(土)午後2時に梓川倭・梓水苑(しすいえん)に集合した。参加者は、林一六会長、小口好久、倉科和夫、坂口竣弥、佐藤利幸、篠原喜連、島野光司、清水理恵、高橋耕一、竹重 聡、戸谷弥生、中村英夫、早坂祥彦、藤田淳一、横内文人の15名であった。

この後、梓川左岸の堤防道路を歩き、倭橋上流側の中洲へと移動した。この中洲一帯で観察できた植物は、次のようであった(※印は帰化植物)。

アオイスミレ?、アカソ、アカツメクサ※、アカマツ、アキノノゲシ、アメリカセンダングサ※、イタドリ、イヌガラシ、ウド、エゾノギシギシ※、オオイヌノフグリ※、オトコエシ、オニツルウメモドキ、ガガイモ、カスミザクラ、カナビキソウ、カミエビ、カモガヤ※、カワヤナギ、カワラサイコ、カワラニガナ、カワラハハコ、カワラマツバ、カワラヨモギ、キツネガヤ、キレハインヌガラシ※、クサノオウ、クマヤナギ、クロバナエンジュ※、クワ、ケショウヤナギ、コウゾリナ、コゴメヤナギ、コボタンツル、コマツナギ、コンフリー※、サボンソウ※、シロツメクサ※、スギナ、ススキ、セイヨウタンポポ※、タネツケバナ、チヂミザサ、ツユクサ、ツルウメモドキ、ツルヨシ、ナンブアザミ、ヌルデ、ネコヤナギ、ノイバラ、ノコンギク、ノヂシャ※、ノブドウ、ノミノフスマ、ハリエンジュ※、ヒメジョオン※、ヒメスイバ※、ヒメムカシヨモギ※、ヒョウタンボク、ヒレアザミ※、ビロードモウズイカ※、フジ、ブタクサ※、フランスギク※、ヘクソカズラ、ヘラオオバコ※、ホソムギ※、ボタンツル、ポブラ※、ママコノシリヌグイ、マメグンバイナズナ※、マルバヤハズソウ、ミゾソバ、ムシトリナデシコ※、メドハギ、メマツヨイグサ※、ヤエムグラ、ヤク

シソウ、ヤブカンゾウ、ヤブジラミ、ヤマブキ、ヨモギ。

途中の河川敷の草本群落の中で、ハマウツボの発見があった。長野県レッドリストの絶滅危惧IA類の植物である。また、ケショウヤナギは、参加の方々に見ていただきたい植物であった。本種は、北海道(日高・十勝)、本州(長野県)に知られている隔離分布種である。長野県でも上高地、梓川下流域、高瀬川、烏川、波田町黒川等に限られる。それぞれが写真に収めたり、標本に採ったりと好評であった。

2日(日)は、朝から雨であった。当日のみの参加者は、井出 靖、信州大学学生3名(伊藤貴嶺、北谷裕之、後藤彩)であった。

島々谷の大曲りで対岸のケショウヤナギを観察した。発見当時より本数は減少したが、梓川流域では支流のケショウヤナギとして話題になったことがある。ここで車に分乗し、上流のゲートまで移動した。降雨は依然として激しかった。信州大学学生・北谷裕之君にゲートから二股までの植物名を記載をしていただいた。感謝して次へ記録する。

アオダモ、アカシデ、アカソ、アカマツ、アケビ、アケボノウツギ、アワブキ、イヌザクラ、イノデ、イワガネゼンマイ、イワデンダ、ウツギ、ウド、ウマノミツバ、ウリカエデ、ウワバミソウ、ウワミズザクラ、エゾノギシギシ※、エビガライチゴ、エビラシダ、オオアブラススキ、オオバコ、オオモミジ、オカトラノオ、オシダ、オトコエシ、オドリコソウ、オニイタヤ、オニグルミ、カツラ、カモガヤ※、カモメツル、カワヤナギ、キツリフネ、キュウリグサ、キンミズヒキ、クガイソウ、クサボタン、クマイチゴ、クリ、クルマバソウ、ケチヂミザサ、ケナシタケニグサ、ケバイカウツギ、ケヤマハンノキ、ゲンノショウコ、コケシノブ、コボタンツル、コメツガ、サルナシ、サワギク、サワグルミ、サワシバ、サワラ、サンカクヅル、サンショウ、シナノキ、シロツメクサ※、ススキ、セイヨ

\* 横内文人 〒399-7402 松本市会田110

ウタンボボ※, セキヤノアキチョウジ, ダイコンソウ, ダイモンジソウ, タケニグサ, タマアジサイ, タラノキ, チドリノキ, ツタウルシ, ツリフネソウ, ツルアジサイ, テキリスゲ, トチノキ, ナンブアザミ, ニシキウツギ, ニワトコ, スルデ, ネコノメソウ, ノコンギク, ノブキ, バアソブ, ハクウンボク, ハタザオ, バッコヤナギ, ハンショウツル, ヒノキ, ヒメジョオン※, フキ, フクロシダ, フサザクラ, フジアザミ, ホオノキ, ボタンヅル, マツブサ, マムシグサ, マルバアオダモ, ミズキ, ミズヒキ, ミゾソバ, ミツデカエデ, ミツバ, ミツバウツギ, ミツモトソウ, ミヤマ

イラクサ, ミヤマニガウリ, ムラサキシキブ, モミジイチゴ, ヤグルマソウ, ヤブマメ, ヤマアジサイ, ヤマイヌワラビ, ヤマウルシ, ヤماغワ, ヤマシロギク, ヤマネコヤナギ, ヤマハンノキ, ヤマブキ, ヤマホタルブクロ, ヨモギ, ラショウモンカズラ, リョウブ。

ゲートまで引き返し, 解散した。参加者はずぶ濡れであったが, 大変に熱心な観察会であった。

昼食後, 希望者には梓川(波田町赤松・松本市梓川八景山境)の河川敷でケショウヤナギの群落を観察してもらった。このころになると, 陽光がまぶしく暑くなったのは, 何とも皮肉であった。